

J I C A 技術協力プロジェクト
(これまでの取組)

1. 日中協力林木育種科学技術センター計画プロジェクト (終了)

(1) 協力期間

2001年10月18日～2006年10月17日 (協力期間)

2006年10月18日～2008年10月17日 (延長期間)

(2) 相手国実施機関

湖北省林業局、安徽省林業庁、湖北省林木育種センター、
安徽省マツノザイセンチュウ抵抗性育種センター

(3) プロジェクトサイト

湖北省林木育種中心 (湖北省武漢市 (首都北京から南へ約 1,200km))

(4) プロジェクト目標

〈協力期間〉

プロジェクト成果の普及を通じ、中国南方各省において林木育種事業の基盤が整備される。また、日中協力林木育種科学技術センターが、林木育種事業の持続に必要な技術能力を獲得する。

〈延長期間〉

日中協力林木育種科学技術センターが、林木育種事業を主体的に且つ計画的に実施するために必要な能力を獲得する。

(5) 活動内容

〈協力期間〉

- ①循環選抜育種技術の開発
- ②病虫害抵抗性育種技術の開発
- ③導入育種技術の開発
- ④遺伝資源保存技術の開発
- ⑤改良種苗生産技術の開発
- ⑥研修訓練事業による技術の普及

〈延長期間〉

(ア) 湖北省林木育種事業を計画的に実施するために必要な支援

- ①遺伝資源保存林等の設計
- ②各育種区推進計画の策定
- ③年度別実施計画の策定
- ④人材の育成

(イ) バビショウのマツノザイセンチュウ抵抗性育種事業に対する取組

- ①抵抗性候補木のつぎ木増殖、抵抗性クローンの確定に必要な検定技術の開発
- ②抵抗性候補木のDNA分析による系統管理技術の開発
- ③抵抗性育種についての事業計画策定及び実施体制の確立

2. インドネシア林木育種計画プロジェクト（終了）

（1）協力期間

1992年6月1日～1997年5月31日（フェーズ1）

1997年12月1日～2002年11月31日（フェーズ2）

（フォローアップ専門家派遣に切り換え：

派遣期間 2002年12月16日～2004年12月15日）

（2）相手国実施機関

林業省研究開発庁、林木育種研究所

（3）プロジェクトサイト

ジョクジャカルタ（首都ジャカルタから東に450km）

（4）プロジェクト目標

遺伝的に優れた種子及び苗の生産、調達システムの確立

（5）活動内容

- ①種子源の造成、評価技術の開発
- ②種子生産、無性繁殖技術の開発
- ③技術、情報、材料の提供
- ④林木育種活動の推進に関する助言

3. ウルグアイ林木育種計画プロジェクト（終了）

（1）協力期間

1993年3月10日～1998年3月9日（林木育種計画）

2000年4月1日～2002年3月31日（アフターケア）

（2）相手国実施機関

国立農牧研究所（INIA）

（3）プロジェクトサイト

タクアレンボー（首都モンテビデオから北に約400km）

（4）プロジェクト目標

既存の人工林を材料とした育種技術及び原産地からの種子の導入による育種技術を開発し、INIAの改良種子生産指導を可能にする。

アフターケアではINIAが林木育種の応用技術を獲得することを目標とする。

（5）活動内容

- ①第2世代のプラス木選抜技術を開発する。
- ②産地試験材からのプラス木選抜技術を開発する。
- ③材質育種の選抜基準作成法を検討する。
- ④霜害抵抗性育種検定法を試行する。
- ⑤プラス木のクローン増殖技術の開発
- ⑥DNA解析によるクローン同定法を試行する。

以上